

施策評価シート（平成29年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期 プラン	政策No.	1-5	政策名	農工商観連携の推進	政策の 目指す姿	多様な産業が連携し、高付加価値を創出しています	施策 主管課	商工労政課	施策主管 課長名	古川 昌
	施策No.	1	施策名	起業の推進	施策の 目指す姿	多様な分野で起業や新事業展開を活発に行っています	関係課名			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的な経済状況の低迷による倒産や事業の再編・集約化、地方拠点の統廃合等により、市内の事業所数が減少しています。 ・経済活動のグローバル化の進展や経済情勢の急速な変化が見られる中、社会ニーズに対応した高付加価値の製品開発には膨大な時間と労力が必要です。 ・市内の製造業は、受託製造が多く、独自に事業分野の拡大や新たな操業を積極的に図る事業者が少ない状況です。 ・新たな産業創出や地域企業の商品開発、新事業展開への取り組みを支援するためのインキュベート施設において、賃貸工場やビジネスインキュベータの入居率が高い一方で起業化支援センター研究室の活用が進んでいない状況にあります。 								

◎ 前年度の評価の振り返り

（前年度評価時の今後の方向性）

・今後も起業化支援センターが地域企業への貢献を果たせるよう組織体制の見直しを行い機能強化を図る。具体的には、運営を行っている「花巻市技術振興協会」の組織の見直しにより体制を強化し、併せて法人化や指定管理制度の導入、企業コーディネート機能の強化を行う。

（反映状況）

・将来の指定管理制度の導入や企業コーディネート機能の強化を目指し、花巻市技術振興協会を法人化（一般社団法人ビジネスサポート花巻）した。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

(1) 起業・新事業展開の推進

○インキュベート施設を活用した起業の推進

・新規創業者に対して入居施設（起業化支援センター、ビジネスインキュベータ）を設置・開放し、新規起業への取組を支援

○コーディネーターによる産業間連携の拡大支援

・起業化支援センターにコーディネーターを配置し、コーディネーターの持つネットワークやノウハウを生かした新事業展開を支援

○大学が保有するシーズを活用した地域産業の高度化の推進

・起業化支援センター内に設置した「国立大学法人岩手大学生産技術研究センター（通称：花巻サテライト）」において、岩手大学工学部内の基礎研究部門で保有するデバイス技術を活用した研究開発、技術普及、技術相談及び技術指導を中心に全学の組織として改称（28年度）し、地域産業の活性化・高度化を推進

○起業化支援センター研究室の活用促進

・研究に特化した企業や機関等の招聘を通じた起業化支援センター研究室の活用を促進

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
インキュベート施設の入居率	創業するために、起業や新たな事業展開を行っている企業がどの程度かを示す指標 ※インキュベート施設は、創業するための支援施設であり、入居率(数)により起業、新事業展開の状況を測るも	出典: 商工労政課 H8 起業化支援センター(研究室8室、工場棟13棟) H14 ビジネスインキュベータ(6室) 計 27棟(室)	%	目標値	74.0	74.0	74.0	74.0	74.0	74.0
				実績値	70.3	66.7	59.3	70.3		
インキュベート施設を卒業して事業所を開設した企業数	起業や新事業展開の結果、創業に結びついていることを示す指標	出展: 商工労政課	社	目標値	2	2	2	2	2	2
				実績値	1	1	0	1		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>■ 成果指標「インキュベート施設の入居率」…【達成度b】 全国的に類似施設が多数存在するなか、市及び起業化支援センターのコーディネーターが連携して施設入居者の発掘に努めたことに加え、昨今の経済情勢が堅調であることなどの要因により対前年度比で入居率が向上した。</p> <p>■ 成果指標「インキュベート施設を卒業して事業所を開設した企業数」…【達成度c】 年度末で起業化支援センター工場棟に入居していた1社が卒業し、市内へ事業所を展開した。</p>

